

2023年2月14日実施
日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第2週目
学力試験 英語 解答例
(配点は当校の推定によるものです)

2/25 【訂正】英語【Ⅰ】(3)にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<英語>

【Ⅰ】配点：24点；各3点

(1) **B** (2) **B** (3) **A** (4) **A**
(5) **B** (6) **C** (7) **C** (8) **C**

【Ⅱ】配点：16点；各2点

(9) **C** (10) **B** (11) **C** (12) **A**
(13) **D** (14) **A** (15) **D** (16) **C**

【Ⅲ】配点：24点；各4点

(17) **B** (18) **A** (19) **B**
(20) **A** (21) **D** (22) **C**

【Ⅳ】配点：18点；各3点

(23) **D** (24) **C** (25) **D**
(26) **B** (27) **D** (28) **D**

【Ⅴ】配点：18点；各3点

(29) **C** (30) **A** (31) **B**
(32) **D** (33) **D** (34) **A**

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。難易度もほぼ例年同様レベル。

〔Ⅰ〕正誤問題は、品詞に関する基礎知識、動詞の使い方をしっかり押さえておけばさほど難しくはなかったはず。

〔Ⅱ〕文法4択問題は標準レベルであったが、仮定法のズレに関する設問はケアレスミスをしないよう注意を要する。

〔Ⅲ〕長文内容一致問題は、問題文は例年通りのレベル。設問の順序は本文の内容の展開に一致しており、判断に迷う微妙な選択肢もなかったため解きやすかったと思われる。

〔Ⅳ〕会話文は、従来同様〔Ⅲ〕の問題文と関連した内容。標準レベルであったが、(23)のような格言には馴染みのない受験生はいるだろう。

〔Ⅴ〕空所補充問題は、問題文、設問ともに例年通りの難易度。選択肢の品詞が統一されているので、単語の知識があれば十分に対応できる問題。

2023年2月14日実施
 日本大学芸術学部 一般選抜 A個別方式第1期第2週目
 学力試験 国語 解答例
 (配点は当校の推定によるものです)

2/25 【訂正】国語【I】問五にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<国語>

【I】 配点：26点：：問一；2点、問二～七；各4点

一	4	二	2	三	2	四	2
五	1	六	4	七	3		

【II】 配点：24点：：各4点

一	2	二	4	三	1
四	3	五	3	六	2

【III】 配点：30点：：問一；各2点、問二；2点(完答)、問三～七 各4点

一A	4	一B	1	一C	3	一D	3
二a	3	二b	4	二c	8	二d	5
三	3	四	4	五	3	六	2
						七	2

【IV】 配点：10点：：各2点

一I	4	一II	9	一III	2	一IV	7	二	3
----	---	-----	---	------	---	-----	---	---	---

【V】 配点：10点：：問一；各1点、問二 各2点

一a	5	一b	3	一c	8	一d	10
二a	4	二b	2	二c	3		

【 短評 】

全体的に昨年度より易化。一般選抜2期入試の廃止が要因と考えられる。

【I】現代文(評論)について、たくさんの事柄が扱われているので、何が話題になっているか丁寧に読み取る必要がある。説明文も第1週目と比較してやや難化。

【II】現代文(小説)について、説明の多い小説で説明文に近い読み方ができる。そのため本文中に解答の根拠を求めやすい。

【III】古文について、第一段落までは2009年入試で出題された文章と同一。単語・文法の基礎知識で解ける問題レベルで、高校での授業を理解できれば満点を取れる。

【IV】【V】文学史・国語表現について、どちらも標準レベルで前回より易化。読みの問題で引っかからないようにしたい。